

# すわみつえ通信

No.369 2025年8月4日

日本共産党鴻巣市議会議員  
諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届け  
たい声がある 声をかたちに

## 2025年 自治体要請キャラバン行う

7月28日(月)鴻巣市役所・大会議室において、市民と市の担当課が「医療・介護・障害・保育・生活保護」について懇談する「自治体要請キャラバン」が行われました。

毎年、埼玉県内63市町村の自治体において、社会保障推進のための懇談を行っています。自治体にはあらかじめ質問を送り、その回答を受けながら懇談を進めます。今年は18名の市民が参加しました。日本共産党から竹田えつ子・すわみつえ市議が同席しました。



市役所・大会議室

## 5分野にわたり切実な住民要求を要請

### 医療

①一般会計からの繰り入れを行い、「保険税を引き下げて」下さい。

同時に引き上げの大本となっている第3期国保運営方針の中止を国・県に求めて下さい。  
②「資格確認書」を被保険者全員に発送して下さい。

③国保税の均等割りの軽減を全世帯に行い、子どもの均等割りを免除してください。  
④住民に寄り添った国保税の徴収を行って下さい。

### 介護

①介護保険料の見直しを行い、保険料の引き下げをして下さい。

②訪問介護報酬の引き上げを国に働きかけて下さい。

③国庫負担の増額を求めて下さい。

### 保育

①保育士の待遇改善と増員を行って下さい。  
②「子ども誰でも通園制度」具体的な状況を教えて下さい。③参加した保育士から「いい保育をするには配置基準を上回る保育士で運営しているため待遇がさらに低くなる。市独自の待遇加算を増やしてほしい。国には配置基準の見直しを求めてほしい」「給食も保育の一環。給食費を無償にしてほしい」と切実な声がありました。

生き抜くが容易ならざるこの猛暑

【俳句コーナー】

### 障害

①障害者の人権と暮らしを守るため、社会資源の拡充、事業所への補助金の増額をして下さい。

### 生活保護

①ためらわずに生活保護申請ができるようにして下さい。鴻巣市は申請率・保護率とも県内で低い。保護決定は申請から2週間以内を徹底して下さい。

**【自治体要請キャラバンとは】** 埼玉県社会保障推進協議会結成直前の1993年6月から自治体訪問(懇談)を始めて毎年、5月~7月頃に社会保障の拡充を求める埼玉県内の全市町村と懇談を行っています。医療、介護、障害者福祉、子育て・保育、最低生活保障などに関する事前アンケートおよび、要望書による文書回答と、全県統一の懇談内容で懇談をお願いしています。回答は懇談を深めるための資料として、資料集にまとめています。

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

## 県央広域事務組合議会開催される 桶川西分署新庁舎建設工事などを可決

7月29日(火)、2025年7月埼玉県央広域事務組合議会定例会が開催されました。議案は職員の育児休業等に関する条例の改正、桶川西分署庁舎建設工事の契約、財産の取得(消防ポンプ自動車)、補正予算等の議案5件を審議し、全員賛成により可決しました。

桶川西分署は現在の場所から桶川市大字川田谷字地内に移転し、工期は令和8年9月30日となります。建築工事費は514,800,000円、請負業者は株式会社タナベ建設(鴻巣市鴻巣1188番地1)です。



桶川西分署新庁舎イメージ図

## 補聴器助成 わたしの街でも 上限4万円 5年経過で再申請も可能

鴻巣市の補聴器助成制度が、しんぶん赤旗日曜版7月27日号に掲載されました。担当課職員も「うれしい」と言ってくれています。

取材に応じた、赤見台の古賀和子さんも、記事を見た友人から「鴻巣すごいね」と電話があったそうです。

掲載記事では市民の要求運動と日本共産党市議団の取組も紹介されました。

しんぶん赤旗日曜版記事から

埼玉県鴻巣市では2023年4月から「難聴者補聴器購入費助成事業」を行っています。

対象は▽18歳以上(市難聴児補聴器購入助成事業の対象児童以外の人)▽両耳の聴力レベルが40デシベル以上▽身体障害者手帳の交付対象外▽身体障害者福祉法による聴覚の指定医が補聴器装用の必要性を認めた人一です。

医療機器である補聴器の購入費が対象で、集音器は対象外。助成額は上限4万円です。助成決定日から5年経過すれば再申請が可能です。



### 【鴻巣市補聴器助成制度の特徴】

- 助成金上限 4万円
- 5年経過であれば再申請が可能
- 申請のための意見書作成は市内医療機関に限らず、市外医療機関でも可能
- 補聴器店舗も同様に市内外の店舗が可能

### 補聴器購入費助成制度がある 埼玉県の21自治体

春日部市 川口市 川越市 鴻巣市  
越谷市 坂戸市 白岡市 草加市  
戸田市 秩父市 鶴ヶ島市 蕨市  
小鹿野町 越生町 上里町 長瀬町  
滑川町 皆野町 横瀬町 吉見町 嵐山町

# 外国人差別は 許しません

民主主義をこわす危険な流れと  
私たちはたたかいます



日本共産党